

# 明石公園における水生外来生物の 侵入状況について

兵庫県立神戸高等学校 自然科学研究会生物班

倉本識 村田未来 増田彩花 小林建太 山本美咲

## 動機・目的

10年ほど前、班員の一人が明石公園で生まれたばかりのアカミミガメの子どもを捕まえた思い出がきっかけで、須磨海浜水族園の協力を得ながら、明石公園におけるアカミミガメの産卵状況の調査を今夏より行っている。調査期間が短かったため充分とはいえないが、現在までの経過報告とその他確認された水生外来生物について発表する。

## 進捗状況

現在、合計2回の捕獲調査を行った。方法は、下の写真1のような籠を仕掛け、翌日以降に回収し、中のカメの個体数を調べる。



この中に餌をいれ、  
水に沈める

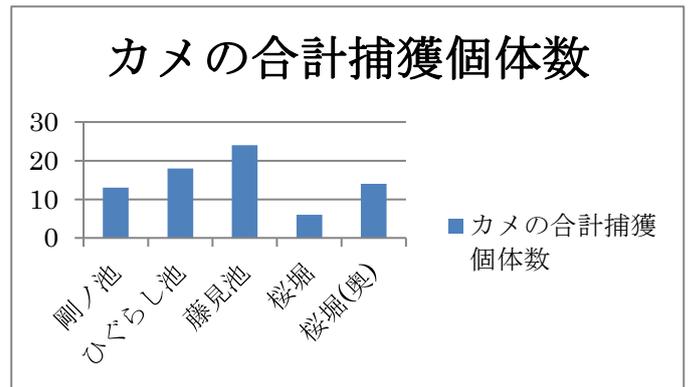
写真1

籠の設置箇所は、以下の5か所である。

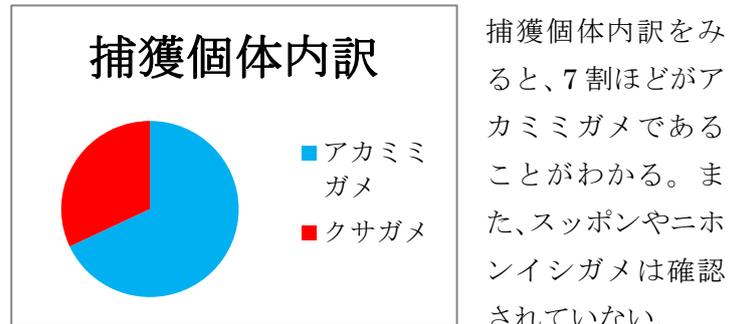


- ①剛ノ池
- ②ひぐらし池
- ③藤見池
- ④桜堀
- ⑤桜堀(奥)

以下は、現在出ている結果である。



現在では、以上の73匹を確認している。



他にも、ブルーギル、アメリカザリガニを確認している。また、アライグマと思われる足跡も発見した(写真2)。また、公園内にはカメの産卵した卵を掘り起こしたあとがあり、アライグマの仕業ではないかと推測している(写真3)。



写真2



写真3

今後も継続して捕獲、調査を行い、在来種の保全に向けて、微力を尽くしていきたいと考えている。